

# IV 校内研究推進計画

## 1 教育研究構想図

学校教育目標  
自ら学び 心豊かに  
たくましく生きる山波っ子の育成

めざす子ども像  
聞く子・考える子・伝える子

聞く子

**共感力**

自分と異なる意見をも大切に  
して、よりよい解決を目指し、協  
働して取り組む力

考える子

**思考力・判断力・表現力**

既習事項を活用して、他者の考え  
を、比較・分類・関連付けながら、  
自分の考えの深化をはかり、その  
考えを表現する力

伝える子

**コミュニケーション能力**

自分の考えを分かりやすく他者  
に伝えると共に、友達の意見を  
聞いて、双方向に伝え合う力

**耐える力(ねばり強く取り組む力)**

他者と協力して、最後まであきらめずにやり切る力

研究主題

**自ら考え、学ぶ子供の育成**

—学びを通して変わった自分に出会える授業づくり—

研究仮説

目指す児童の姿を明確にした授業づくりを行い、振り返りを通して児童に自らの変容を実感させることができれば、主体的に考え、学ぶことができる児童に育成することができるであろう。

課題設定の工夫

- ①児童の生活や経験と結び付けた課題設定
- ②前時の振り返りや、既習事項を活用した課題設定
- ③児童が自ら課題を見付けられるようにするための、これまでの考えとの「ずれ」や「隔たり」を感じさせる工夫

育てたい力の明確化と  
目指す児童の姿の共有化

- ①単元の通して育てたい力の明確化と、それをもとにした1時間毎につける力の明確化
- ②育てたい力をもとにした、目指す児童の姿の具体化と児童との共有化
- ③児童が「分かる」「できる」授業にするための、授業のユニバーサルデザイン化
- ④目指す姿に迫るために必要な知識及び技能を習得させ、思考力・判断力・表現力を育むための工夫

振り返りの充実

- ①学習内容を確認する振り返り
- ②学習内容を現在や過去の学習内容と関係付けたり、一般化したりする振り返り
- ③他者との関わりによる自己変容を自覚する振り返り